KENWOOD

特定小電力トランシーバー

UBZ-LJ20

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保存してください。

本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

© B62-1685-10
09 08 07 06 05 04 03 02 01

目次

ご使用の前に

基本操作

応用操作

その他

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容(表示と意味)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容を示しています。

● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容(左図の場合はACアダプターをACコンセントから抜け)を示しています。

・お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠危険

バッテリーパックの取扱について

バッテリーパックは以下のことをお守りいただけない場合、けがや電池の漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。

- 充電温度範囲は、5℃～40℃です。この温度範囲以外では充電しないでください。

- 専用充電器以外では充電しないでください。

- 本機以外の機器に取付けないでください。

- 火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしないでください。

- 端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

- 液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

⚠警告

使用環境・条件

- 交通安全上、運転しながら交信するのはおやめください。

- 電子機器(特に医療機器)の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では、絶対に使用しないでください(電源も入れないでください)。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたすおそれがあります。

- 本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。

充電器の取扱について

- ＡＣ１００Ｖ以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

- タコ足配線はしないでください。過熱・発火の原因となります。

- 濡れた手で電源プラグに触れたり、電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

- 電源プラグはACコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの端子に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

- 電源プラグの端子にほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや過熱により火災や感電の原因になります。

使用方法について

- 本機を布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。

- 長時間の連続送信はしないでください。本体の温度が上昇して、やけどの原因となります。

- アンテナのごく近くに人・動物・ペット等がいるときは、電波を発射しないでください。やけど、目の異常の原因となります。

- イヤホンを使用する場合、電源を入れる前に音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。

- 本機に水をかけたり、水が入ったり、濡らさないよう、ご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。

- 水などで濡れやすい場所(風呂場など)では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

- 本機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

- 本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

異常時の処置について

● 内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損した場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの、異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

● 煙りが出た場合は、すぐに電源スイッチを切り、電池パックを外し、充電中はプラグを AC コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。

● 雷が鳴り出したら､安全のため早めに電源スイッチを切り、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜いて、ご使用をおひかえください。

保守・点検

● 本機のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。

お客様による修理は危険です。絶対におやめください。

⚠注意

使用環境・条件

● テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

● 直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

● 湿気の多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

● ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

充電器の取扱について

● 充電器のコードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災・感電・故障の原因となることがあります。

● 充電器の電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持ってください。コードを引っぱると、コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となることがあります。

使用方法について

● アンテナを誤って目にささないようにご注意ください。

● SP/MIC端子にはオプションのヘッドセットやスピーカーマイク以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

● 旅行などで長期間使わないときは、電源スイッチを切り、電池パックを外して、充電器は電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

保守・点検

● お手入れの際は、電源スイッチを切り、バッテリーパックを外して、充電器は電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

● 水滴が付いたら、乾いた布でふき取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンは使用しないでください。

電波法に関するご注意

● 本機裏面の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。使用できなくなります。

● 本機を分解したり、改造して使用することは電波法により禁止されています。

● 他人の通信を聞いてこれを漏らしたり、窃用することは電波法により禁止されています。

● 無線機の使用が禁止されている所があります。航空機内、空港敷地内、新幹線車両内などでは使用しないでください。

ご使用にあたってのご注意

- 本機と通話できるトランシーバー（当社製品）は次のとおりです。
  ・グループモード・ボイススクランブルモードがある機種（20ch機）:
  UBZ-LH20、UBZ-BG20R
  ・グループモード・ボイススクランブルモードがある機種（9ch 機）:
  UBZ-LH9、UBZ-BG9R、UBZ-LG9、UBZ-LF9、UBZ-LA7 シリーズ、UBZ-LA5、UBZ-L5
  ・グループモード・ボイススクランブルモードがある機種（11ch機）:
  UBZ-LH11、UBZ-BG11R、UBZ-LG11、UBZ-LF11、UBZ-B7、UBZ-B5、UBZ-BA5
  ・グループモードはあるが、ボイススクランブルモードがない機種（9ch 機）:
  UBZ-17
  ・グループモード・ボイススクランブルモードがない機種（9ch 機）:
  UBZ-L3、UBZ-7

※ 通話相手がレピーターを使用している場合は、交信できません。
9ch 機（h1 ～ h9ch）、11ch 機（1 ～ 11ch）

- 通話のできる距離は、地形や環境によって大きく異なりますが、目安は次のとおりです。
  ・市街地で 100 ～ 200m・郊外で 1 ～ 2km
  建築物が多い地域や、自動車などの金属物体の周囲では、通信距離が短くなります。
- 本機は、JIS 保護等級 2 防滴 2 型相当の仕様（ゴムキャップ密閉時）ですので、多少の水滴がかかっても使用できます。ただし、雨の中でのご使用や、直接水につけて使用されると故障の原因となります。水分が付いたときは、ただちに乾いた布でよくふき取ってください。
  SP/MIC端子のゴムキャップを外しているときや、SP/MIC端子にオプションのスピーカーマイクロホンなどが接続されているときは、防滴になりません。
- 激しい振動、雨、粉塵がある環境で使用しないでください。

ご注意

- テレビ、ラジオ、パソコンなどの電子機器の近くで使用すると、電波妨害を与えたり、受けたりすることがあります。これらの機器から離れた場所でお使いください。

準備する

付属品を確認する

付属品がすべて揃っていることをご確認ください。

・本体 .... 1　・取扱説明書（本書）.... 1　・ベルトフック ... 1
・保証書 .... 1　・サービス一覧表 1

電池について

アルカリ乾電池（単 3 形 3 本：4.5V)、または別売品の専用充電式ニカドバッテリーパック（UPB-1：DC3.6V）のご使用をおすすめします。

電池の使用可能時間のめやす

電池の種類	使用可能時間
アルカリ乾電池	約60時間
バッテリーパック（UPB-1）	約24時間

測定条件：ラウドネスがOFFの状態で送信6秒、受信6秒、待ち受け48秒を繰り返したとき。

乾電池に関するご注意

● 乾電池は、使い方を誤ると破裂や破損、液もれの原因となります。必ず次の注意事項を必ずお守りください。
1. 使用した乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用しない。
2. 3 本とも同じ種類の乾電池を使用する。
3. 乾電池は充電しない。
4. 火の中へ投げ込まない。
5. ショート、分解、加熱しない。
6. 長期間使用しないときは、乾電池を電池ケースから取り出しておく。

市販の単 3 形充電式電池について

● 単3形充電式電池は使用しないでください。端子や電池の被覆がショートして発熱し、電池ケースや本体が壊れることがあります。

バッテリーセーブについて

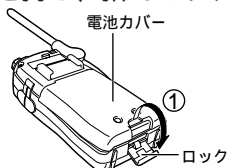
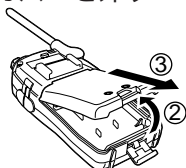
● 電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約5秒間キー操作がないと、この機能が働きます。信号を受信するか、キー操作が行われるとバッテリーセーブは解除されます。この機能はON／OFFできません。

KENWOOD

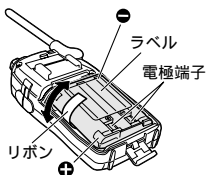
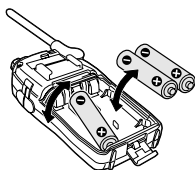
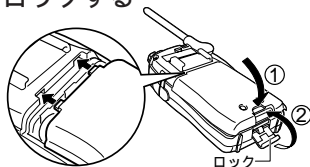
不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
リサイクルにご協力お願いいたします。

電池の入れ方

電池カバーを開ける前に、アンテナを立てておきます（→ 13 ページ）。

1 本体を持ち、指でロックを外す

2 電池カバーを外す

3 電池ケースの＋－の表示に従って電池を入れる

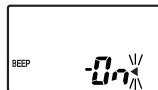
アルカリ電池の入れ方

バッテリーパック(UPB-1)の入れ方

4 電池カバーのツメを本体の凹部に入れてカバーを閉め、ロックする

使用する電池の種類を設定する

本機は、アルカリ乾電池またはバッテリーパック（UPB-1）を使用できます。使用する電池の種類によって、設定を変えてください。使用する電池と設定が合っていないと、バッテリー表示が正しく表示されません。お買い上げ時の設定は「アルカリ乾電池」です。

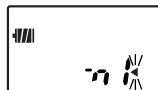
1 【⏻】を1秒以上押して、一度電源を切る

2 【UP】を押しながら【⏻】を押す

電源が入り、表示部にメニューが表示されます。

3 【UP】または【DOWN】を押す

「　」を表示させます。

4 【MODE】を押す

押すたびに切り替ります。
AL ：アルカリ乾電池のとき
nl ：バッテリーパック（UPB-1）のとき

5 【PTT】を押す

設定を終了します。
【⏻】を 1 秒以上押すと設定を終了し、電源を切ります。

バッテリー表示機能について

・ 電池の残量の目安を表示します。

高　中　低　極低　送信禁止

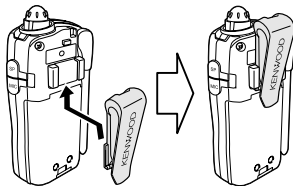
電池の交換時期について

・ バッテリー表示が「　」になったら、電池が消耗しています。早めに電池を交換してください。なお、「　」が点滅に変わり、「ピッ」という警告音が 1 分ごとに鳴ると、送信ができなくなります。

アンテナを立てる

アンテナは必ず垂直に立ててご使用ください。

ベルトフックを取り付ける

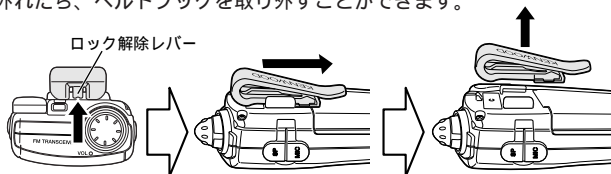
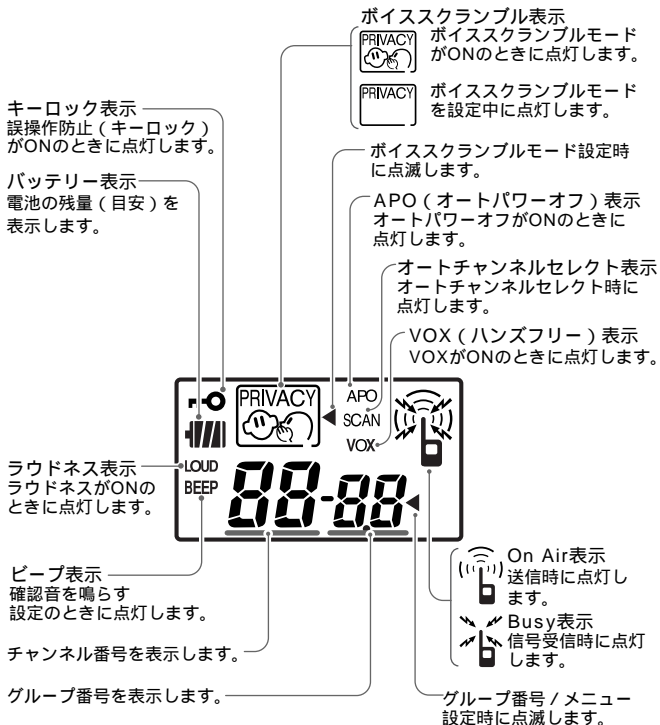
ベルトフックは縦向きに取り付けます。ベルトフックの裏のガイドを本体背面のスリットに合わせて、「カチッ」と音がして完全にロックするまで上側へスライドさせてください。

ベルトフックを取り外す

ベルトフック上部のロック解除レバーを押しながら、ベルトフックを本体下側へスライドさせます。ベルトフック裏のガイドが本体のスリットから外れたら、ベルトフックを取り外すことができます。

各部の名称

本体

音量ツマミ
アンテナ
表示部
送信ボタン【PTT】
UPボタン【UP】
DOWNボタン【DOWN】
スピーカー
38 GROUP MODE
DEMITOSS 20
UP
DOWN
MODE
KENWOOD
外部スピーカー／マイク接続用端子（ゴムキャップ付）
SP
MIC
電源ボタン【⏻】
モード切換ボタン【MODE】
マイクロホン（搭載位置）

表示部

参考

- 電源を入れてから 5 秒間表示部の照明ランプが点灯します。【PTT】以外のキー操作を行うと、再び点灯します。この機能は ON ／ OFF できません。

通話する

相手の方と同じチャンネル番号を設定し、送信／受信を切り換えながら通話します。

電源を入れる

1 【⏻】を 1 秒以上押す

表示が出て「ピピッ」と鳴ります。

2 音量を上げる

3 【UP】または【DOWN】を押す

チャンネル番号を合わせます。
【UP】または【DOWN】を1秒以上押すと、押し続けている間チャンネル番号が早送りされます。

従来の 9 チャンネル機と交信する場合
h1 ～ h9 に合わせます。

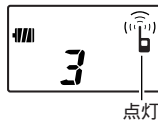
例：h1 チャンネルに合わせた場合

従来の 11 チャンネル機と交信する場合
1 ～ 11 に合わせます。

例：3チャンネルに合わせた場合

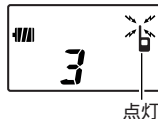
送信する

4 【PTT】を押しながら話す

マイク部から口を 5cm くらい離してお話しください。

受信する

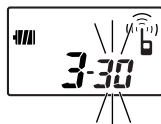
5 【PTT】から指を離す

受信すると、(アイコン)が点灯します。

手順 ***4*** と ***5*** の操作を繰り返して、通話します。

が点灯中に【PTT】を押すと、「プー」と鳴り送信できません。相手の方からの送信が終了し、が消灯したら【PTT】を押して送信します。

電源を切る

6 【⏻】を 1 秒以上押す

表示が消え「ププッ」と鳴ります。

通話時間終了の予告

本機の連続通信時間は、送信・受信を合わせて3分間です。通話終了の30秒前になると、表示部の数字が点滅しながらカウントダウンを始めます。10秒前になると「ピッ」と予告音が鳴り、3分経過すると送信禁止音と共に送信を停止し、受信待ち受け状態に戻ります。続けて通信するときは、送信停止 2 秒後に【PTT】を押して相手を呼び出してください。この機能の ON ／ OFF はできません。

ご注意

- 設定したチャンネル番号が使用されている場合、相手の方と共に他のチャンネル番号を設定してください。
- 通話中に誤ってキーを押してもチャンネルやモードは変わらないように設定できます（「誤ってキーが押されるのを防ぐ（キーロック）」→ 33 ページ）。

参考

- チャンネルの早送りは、オートチャンネルセレクトが「Ad」に設定されている場合はできません（→ 25 ページ）。
- 本機には、基本通話の他に 2 種類の通話方法があります。必要に応じて設定してください。通話のしかたは基本通話と同じです。
  - **グループモード**（→ 19 ページ）
    仲間どうしで通話したいとき
  - **ボイススクランブルモード**（→ 21 ページ）
    他の人に通話を聞かれたくないとき

音量をより大きくする（ラウドネス）

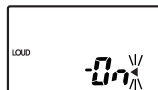
音量ツマミ回して音量を大きくしても、相手の声が小さくて聞きとりにくい場合は、ラウドネスをONにすると、本機のスピーカー音量がより大きくなります。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

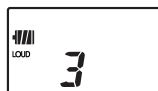
設定する

1 【⏻】を押す（1 秒未満）

ラウドネス設定メニューになります。

2 【UP】または【DOWN】を押す

On (ON) ：音量がより大きくなります。
OF (OFF)：通常の音量になります。

3 【PTT】、【MODE】または【⏻】を押す（1 秒未満）

チャンネル設定モードになります。

ご注意

- ラウドネスを ON にすると、電池は通常よりも早く消耗されます。
- 送信中「LOUD」は消灯します。
- オプションのヘッドセットやスピーカーマイクロホンを使用しているとき、ラウドネスは使用できません。

参考

- 10 秒以上操作を行わない場合、手順 2 で選択した状態が自動で設定されます。

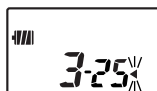
グループで通話する（グループモード）

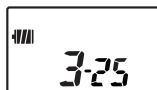
他のグループと同じチャンネルで交信している場合、お互いの声が混ざり合って通信しづらくなります。仲間どうしでグループモードを設定しておくと、混信がなくなって快適に通話ができます。

設定する

1 【MODE】を押す

2 【UP】または【DOWN】を押す

「1 ～ 38」から選んでください。「OF」を選ぶとグループモードが解除されます。

3 【PTT】または【MODE】を押す

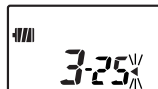
【MODE】を押すとグループ番号が設定され、ボイススクランブルモード設定画面になります（→ 21 ページ）。
【PTT】を押すとグループ番号が設定され、送信状態になります。

ご注意

- 他のグループが同じチャンネル番号を使用していると、通信の内容はすべて受信されます。この場合、音声は聞こえなくても受信状態になります。
  が点灯し、【PTT】を押すと「プー」と鳴って送信できません。

参考

- 10 秒以上操作を行わない場合、手順 2 で選択した状態が自動で設定されます。
- 一度設定したグループ番号は、全チャンネル共通で使えます。
- 【UP】または【DOWN】を 1 秒以上押し続けると、グループ番号は早送りされます。

解除する

1 【MODE】を押す

2 【UP】または【DOWN】を押す

「OF」を表示させます。

3 【PTT】または【MODE】を押す

【MODE】を押すとグループ番号が解除され、チャンネル設定モードになります。
【PTT】を押すとグループ番号が解除され、送信状態になります。

参考

- 10秒以上操作を行わないと、手順2で選択した状態が自動で設定されます。

グループ以外の人に通話を聞かれないようにする（ボイススクランブルモード）

グループモード時にボイススクランブルモードを設定すると、ボイススクランブルモードを設定していない人が信号を受信しても、会話を聞きとることができません。他の人に聞かれたくない大切な話などのときに設定すると便利です。あらかじめグループモードを設定してください（→19ページ）。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

設定する

1 【MODE】を2回押す

2 【UP】または【DOWN】を押す

「（マーク）」を点灯させます。

3 【PTT】または【MODE】を押す

【MODE】を押すとボイススクランブルモードが設定され、チャンネル設定モードになります。
【PTT】を押すとボイススクランブルモードが設定され、送信状態になります。

ご注意

- チャンネル番号、グループ番号、ボイススクランブルモードは、通話する相手の方と設定を合わせてください。設定が違うと通話できません。
- グループ番号とボイススクランブルモードが一致した場合、第三者でも通信を傍受できます。高度な機密を要する通話では、本機でのご使用はお薦めいたしかねます。

参考

- 10秒以上操作を行わないと、手順2で選択した状態が自動で設定されます。

解除する

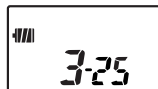
1 【MODE】を 2 回押す

2 【UP】または【DOWN】を押す

「(アイコン)」を消灯させます。

3 【PTT】または【MODE】を押す

【ＭＯＤＥ】を押すとボイススクランブルモードが解除され、チャンネル設定モードになります。
【PTT】を押すとボイススクランブルモードが解除され、送信状態になります。

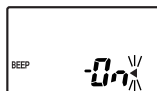
参考

- 10秒以上操作を行わないと、手順2で選択した状態が自動で設定されます。
- グループモードをOFFにすると、ボイススクランブルモードもOFFになります。

確認音を鳴らさない設定にする

キー操作をしたときに鳴る確認音をビープ音（BEEP）といいます。この音を鳴らさないように設定できます。お買い上げ時は「ON」に設定されています。

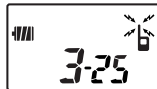
1 一度電源を切る

2 【UP】を押しながら【⏻】を押す

電源が入り、表示部にメニューが表示されます。

3 【MODE】を押す

押すたびに切り替ります。
On (ON) ：確認音が鳴ります。
OF (OFF)：確認音は鳴りません。

4 【PTT】を押す

設定を終了します。
【PTT】のかわりに【⏻】を1秒以上押すと設定を終了し、電源を切ります。

参考

以下の警告音、予告音などはこの機能のON／OFFと関係なく鳴ります。

- バッテリー警告音
- 通信時間制限予告音
- APO警告音
- 送信禁止音

自動で電源を切る（オートパワーオフ：APO）

1時間59分間信号を受信せず、キー操作も行なわれなかった場合、電源を切り忘れたとみなして告知音を鳴らします。さらに同じ状態が1分間続くと、自動で電源を切ります。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

設定する

1 一度電源を切る

2 【UP】を押しながら【⏻】を押す

電源が入り、表示部にメニューが表示されます。

3 【UP】または【DOWN】を押す

「APO」を表示させます。
現在の設定状態が表示されます。

4 【MODE】を押す

押すたびに切り替ります。
On (ON) ：APOが動作します。
OF (OFF)：APOは動作しません。

5 【PTT】を押す

設定を終了します。
【PTT】のかわりに【⏻】を1秒以上押すと設定を終了し、電源を切ります。

ご注意

- スケルチがOFFのとき、一時モニター中、オートチャンネルセレクト中は動作しません。

参考

- オートパワーオフで電源が切れた場合、【⏻】を1秒以上押すと電源が入ります。

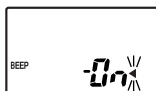
自動で空いているチャンネルを探す(オートチャンネルセレクト)

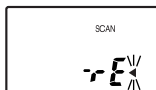
グループで設定したチャンネルで通話ができない場合、自動で空いているチャンネルを捜します。目印にグループ番号を使いますので、あらかじめ同じグループ番号を決めてグループモードを設定してください（→19ページ）。お買い上げ時は「rE」（チャンネル番号の早送り）に設定されています。

設定する

1 一度電源を切る

2 【UP】を押しながら【⏻】を押す

電源が入り、表示部にメニューが表示されます。

3 【UP】または【DOWN】を押す

「SCAN」を表示させます。
現在の設定状態が表示されます。

4 【MODE】を押す

押すたびに切り替わります。
Ad ：オートチャンネルセレクトを設定します。
rE ：チャンネル番号を早送りします。

5 【PTT】を押す

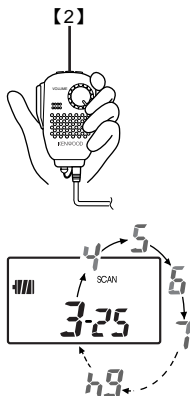
設定を終了します。
【⏻】を1秒以上押すと設定を終了し、電源を切ります。

ご注意

- オートチャンネルセレクトを設定すると、チャンネル番号の早送りはできません。
- グループ全員でオートチャンネルセレクトを設定しておいてください。

設定が終わったら

6 本機の【UP】またはオプションのリモコン対応マイクの【2】を 1 秒以上押す

表示部に「SCAN」が点灯し、空いているチャンネルを見つけるまでチャンネルが変わり続けます。

呼び出す

7 【PTT】を 2 ～ 3 秒押し続ける

送信時の表示例

空いているチャンネルで 10 秒ほど停止するので、【PTT】を押したまま通常よりゆっくり呼びかけます。
呼びかけが終ったら【PTT】から指を離し、相手の方がそのチャンネルで応答してくるのを待ちます。

本機で操作　　マイクで操作

呼び出されると が点灯し、チャンネル番号が点滅する

8　が消えてから、【PTT】を押して応答する

本機で操作

マイクで操作

解除する

オートチャンネルセレクト中に本機の【UP】、【DOWN】、【MODE】のどれか、またはオプションのリモコン対応マイクの【2】を押す

表示されているチャンネルで受信待ち受け状態になります。

参考

- 応答は 10 秒以内に行ってください。10 秒以上送信・受信がないと、オートチャンネルセレクトを再開します。

話すだけで自動送信する（VOX）

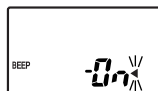
【PTT】を押さなくても､､マイクに話すだけで自動で送信することができます。話をやめると自動で受信待ち受け状態になります。

入力レベルを設定する（VOX の ON/OFF）

周りの環境や声の大きさによって､本機のマイクが感知する音声の入力レベルを設定できます。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 一度電源を切る

2 【UP】を押しながら【⏻】を押す

電源が入り、表示部にメニューが表示されます。

3 【UP】または【DOWN】を押す

「GL 」を表示させます。（VOX が同時表示）
現在の設定状態が表示されます。

4 【MODE】を押す

押すたびに、次のように切り替わります。

3……より小さい音に反応します。
↑
2……1と3の中間の大きさの音に反応します。
↑
1……より大きい音に反応します。
↑
OF(OFF)…VOXを解除します。

5 【PTT】を押す

設定を終了します。
【PTT】のかわりに【⏻】を 1 秒以上押すと設定を終了し、電源を切ります。

参考

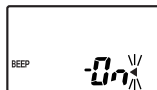
- 本機にヘッドセットを接続してご利用になられる場合は、別売品の KHS-21、HMC-3、HMC-4 のご利用をおすすめします。HMC-3、HMC-4 を使用するときは、ヘッドセット側の VOX を OFF、感度調整ボリュームを最小にしてください。スピーカーマイクロホン（SMC-34)、イヤホン付きクリップ型マイクロホン（EMC-3）を使用されると、VOX は正しく動作しません。

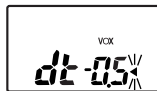
ディレイタイムを設定する

VOX で通話中、話が途切れても一定時間送信を続けられるように、送信から受信に切り替るときの間隔を調整します。お買い上げ時は「0.5（秒）」に設定されています。

1　一度電源を切る

2　【UP】を押しながら【⏻】を押す

電源が入り、表示部にメニューが表示されます。

3　【UP】または【DOWN】を押す

「dt」を表示させます。（VOX が同時表示）
現在の設定状態が表示されます。

4　【MODE】を押す

押すたびに、0.5（秒）→ 1.0（秒）→ 2.0（秒）→ 3.0（秒）→ 0.5（秒）・・・と切り替わります。

5　【PTT】を押す

設定を終了します。
【PTT】のかわりに【⏻】を 1 秒以上押すと設定を終了し、電源を切ります。

ご注意

- VOX は、受信中、確認音が鳴っているとき、コールトーンが鳴っているとき、スケルチが OFF のとき、オートチャンネルセレクト中、各機能設定中は使えません。
- 通話を始めても送信するまでに多少時間がかかるため、音声の始めが途切れる場合があります。

参考

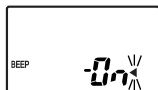
- 3 分以上連続して送信することはできません。

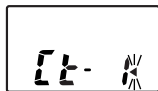
コールトーンの音色を変更する

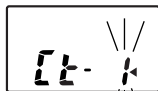
お好みのコールトーンまたはメロディトーンで相手を呼び出すことができます。コールトーンは 6 種類、メロディトーンは 4 種類あります。コールトーンを使うと、誰からの呼び出しかすぐに分かります。あらかじめ、通話相手の方と使用するコールトーンをお決めください。お買い上げ時は「1」に設定されています。

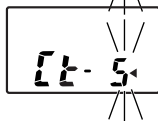
1 一度電源を切る

2 【UP】を押しながら【⏻】を押す

電源が入り、表示部にメニューが表示されます。

3 【UP】または【DOWN】を押す

「Ct」を表示させます。
現在の設定状態が表示されます。

4 【MODE】を押す

コールトーン設定メニューになります。

5 【UP】または【DOWN】を押す

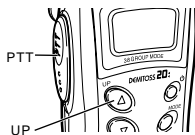
1～10からコールトーンを選びます。選んだコールトーンが鳴ります。
1～6　：コールトーン
7～10　：メロディトーン

6 【PTT】を押す

設定を終了します。
【PTT】のかわりに【⏻】を 1 秒以上押すと設定を終了し、電源を切ります。

コールトーンで呼び出す

相手を「コールトーンの音色を変更する」で設定したコールトーンで呼び出すことができます。

本機で呼び出す

【PTT】を押しながら【UP】を押す

オプションのリモコン対応マイクで呼び出す

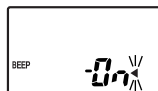
【3】を押す。または【PTT】を押しながら【3】を押す

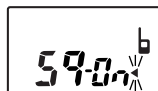
弱い信号を受信する

通常は受信できない弱い信号を受信したいときに、強制的にスケルチ（雑音消去回路）を OFF にして音声を聞く機能です。電波が弱く、聞きとりにくいときに便利です。お買い上げ時は「ON」に設定されています。

1 一度電源を切る

2 【UP】を押しながら【⏻】を押す

電源が入り、表示部にメニューが表示されます。

3 【UP】または【DOWN】を押す

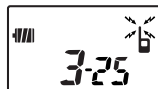
「59」を表示させます。
現在の設定状態が表示されます。

4 【MODE】を押す

押すたびに切り替ります。

On (ON) ：スケルチが閉じます。弱い電波を受信しないので、雑音は聞こえません。

OF (OFF)：スケルチが開きます。弱い電波を受信するので、「ザー」という雑音が聞こえます。

5 【PTT】を押す

設定を終了します。

ご注意

- 一度電源を切ったり、オートチャンネルセレクトをONにすると、OFF に設定したスケルチは自動で ON に戻ります。
- グループモードのときスケルチを OFF に設定すると、そのチャンネルで受信しているすべての音声が聞こえます。

一時モニターを使う

この機能は、オプションのリモコン対応マイクで操作します。
受信信号の状態を一時的にモニターします。

【1】を押す

押している間だけ が点灯し、信号の状態をモニターできます。

ご注意

- グループ通話時に一時モニターを使うと、そのチャンネルで受信しているすべての音声が聞こえます。

誤ってキーが押されるのを防ぐ（キーロック）

通話中に間違えてキーを押しても動作しないように設定できます（誤操作防止）。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

設定する

【MODE】を 1 秒以上押す

「」が点灯します。

電源のON／OFF以外の操作は受け付けません。
オプションのリモコン対応マイクは【1】と【3】キーのみ操作ができます。

解除する

【MODE】を 1 秒以上押す

「」が消灯します。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下の表を確認してください。該当する症状がない場合や異常を解決できない場合は、リセットしてください（「お買い上げ時の状態に戻す（オールリセット）」→ 35 ページ）。

症状	原因	処置	P
電源が入らない	●電池の入れ方が違う ●電池が消耗している	●＋－を正しく入れる ●新しい電池に交換する	11 11
受信できない	●【PTT】が押されて送信中になっている	●【PTT】から指を離す	16
音量ツマミを回しても音が出ない	●グループ番号が違う	●グループ番号を合わせる	19
相手と通話できない	●チャンネルかグループ番号が違う ●相手との距離が離れすぎている	●チャンネル、グループ番号を合わせる ●通話のできる距離を目安に通話する	16 19 9
ほとんどのキーを押しても動作しない	●誤操作防止（キーロック）になっている	●誤操作防止（キーロック）を解除する	33
電池の消耗が早い	●ラウドネスがONになっている	●必要なときだけラウドネスをONにする	18
聞き取れない音声が入る	●同じチャンネルで別のグループ番号を使っているグループがいる	●そのチャンネルが空かないときはチャンネルを変更する	16
何も聞こえないのに（アイコン）が点灯する	●ボイススクランブルモードを使っているグループがいる	●オートチャンネルセレクトで他の空いているチャンネルを捜す	25
音量を大きくすると、プーという音がする 表示がすぐ消える	●電池が消耗している	●新しい電池に交換する	11
送信ができない	●（アイコン）が点灯している	●チャンネル番号を変更するか、（アイコン）が消えるのを待つ	16

参考

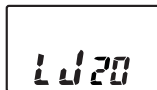
- 電源を入れたときに、LCD の表示が乱れることがありますが、故障ではありません。直ぐに現在の設定や状態の表示になります。

お買い上げ時の状態に戻す（オールリセット）

お客様が設定した内容はすべて消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 一度電源を切る

2 【UP】と【DOWN】を押しながら、【⏻】を押す

「LJ20」と表示されます。

3 【UP】、【DOWN】、【⏻】から指を離す

確認音が鳴ってお買い上げ時の状態に戻り、チャンネル番号 1 が表示されます。

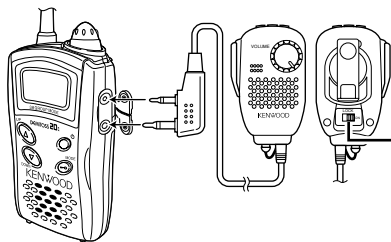
オプション（別売品）について

本機には、次のようなオプション（別売品）が用意されています。

- **EMC-3** .... イヤホン付きクリップ型マイクロホン
- **HMC-3** .... VOX/PTT 付きヘッドセット
- **HMC-4** .... リモコン対応 VOX/PTT/TOT 切換式ヘッドセット
- **HS-9** .... プチ型イヤホン
- **KHS-21** .... ヘッドセット
- **SMC-34** .... リモコン対応ボリューム付きスピーカーマイクロホン
- **UBC-2** .... ツインチャージャー
- **UBC-4** .... シングルチャージャー
- **UPB-1** .... 充電式ニカドバッテリーパック（3.6V 700mAh）
- **USC-3** .... キャリングケース

※ 製品名のあとに(G)、(C)と表記されてる商品がありますが、これらも表記の無い商品と同一製品です。

オプションのマイクを本機に接続する

- SMC-34（リモコン対応ボリューム付きスピーカーマイクロホン）を接続する場合：接続の前に必ず本機の電源を切ってください。
お買い上げ時は、LOCK スイッチが ON になっています。

注意

- SP/MIC端子に、オプションを接続しているときは、防滴になりません。

オプションの充電器を使って充電する

詳しい説明は、各充電器の取扱説明書をお読みください。

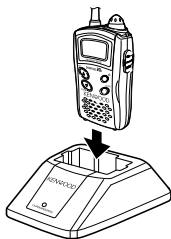
- ツインチャージャー（UBC-2）とバッテリーパック（UPB-1）を使用する場合

バッテリーパックのみを充電するとき

バッテリーパックをトランシーバーに付けたままで充電するとき

スペアのバッテリーパックも同時に充電するとき

- シングルチャージャー（UBC-4）を使用する場合

バッテリーパックをトランシーバーに付けたままで充電します。
バッテリーパック単体では充電できません。

参考

- ツインチャージャー（UBC-2）は 10 台まで連結できます。
- UBC-2 ／ UBC-4 での充電時間は約 8 時間です。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

保証について

● 保証書（別添）

この製品には、保証書を（別途）添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確めのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より **1年間** です。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（34ページ）を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。（別紙 " ケンウッド全国サービス網 " をご参照ください。）

修理に出された場合、設定されたデータが消去される場合がありますので、別途お客様御自身でお控え下さいますようお願いいたします。また、本機の故障、誤動作、不具合等によって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、ケンウッドは一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承くださ。

● 保証期間中は・・・

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンターが修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は・・・

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

・補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**8**年です。

（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

● 修理料金の仕組み（有料修理の場合は次の料金が必要です。）

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

仕様

送受信周波数 .... 422.200～422.300 MHz（h1～h9 ch）
422.050～422.175 MHz（1～11 ch）
12.5 kHz ステップ
電波型式........................ F3E、F2D
周波数安定度 .... ± 4ppm
消費電流........................ 送信時 70 mA 以下
受信定格出力時 120 mA 以下
（ラウドネス OFF 時）
受信待ち受け時 50 mA 以下
セーブ時（平均）約 10 mA
性能保証温度範囲 .... － 10 ℃～＋ 50 ℃
電源電圧........................ 定格電圧 DC 4.5 V（－接地）
送信出力........................ 10 mW
低周波出力.................... 90 mW 以上
（定格電圧、8 Ω負荷、10 %歪時）
受信感度........................ － 8 dB μ以下（12 dB SINAD）
寸法 mm
（突起物含まず）............ 幅（55.5）× 高さ（103.9）× 奥行き（26）
質量（重量）.................. 約 180 g（単 3 アルカリ電池 3 本を含む）

KENWOOD
株式会社 ケンウッド
〒192-8525　東京都八王子市石川町2967-3

● 商品に関するお問い合わせはカスタマーサポートセンターをご利用ください。
電話 (03) 3477 - 2803　　FAX (03) 3477 - 5334
● アフターサービスのお問い合わせは、お買い上げの販売店、または最寄りのケンウッド・サービスセンターにご相談ください（別紙 " 全国サービス網 " をご参照ください）。